

通常上映

# ドキュメンタリー映画特集

日本のドキュメンタリー映画の秀作特集



あるマラソンランナーの記録



干潟のある海 諫早湾1988



ドキュメント 路上

新型コロナウイルス感染防止のため  
下記へのご理解をお願いします。

- 座席数を削減しています。
- 入場にはマスクの着用が必要です。
- 咳エチケットにご協力ください。
- 鑑賞券はトレイにおいてください。
- 職員はマスク・手袋を着用します。

通常  
上映

# ドキュメンタリー映画特集

日本のドキュメンタリー映画の秀作特集

11(月・祝) 14:00 / 20(水) 14:00

## 阿賀に生きる

新潟県の阿賀野川。1965年、昭和電工の廃液による水銀汚染で水俣病の発生が確認される。本作はその阿賀野川流域に住む人々の生活と、水俣病の訴訟を描いたドキュメンタリー映画である。水俣病の訴訟を描いているが、映画の中心となるのは阿賀野川流域に住む、農業を営む長谷川さん夫婦、木船を作る遠藤さん、餅つき職人の加藤さん夫婦の3組の家族である。監督たち撮影の一行は阿賀野川流域に3年に渡って住み着き、人々と交流を重ねる。そして彼らの細かな生活について丁寧に記録していく。年をとり変わりつつある彼らの生活と、そこに住む人々への愛情が感じられるドキュメンタリー作品である。



監督: 佐藤真

1992年 / 16ミリ / カラー / 116分 / 阿賀に生きる製作委員会

6(水) 14:00 / 17(日) 11:00

## 海壁

東京電力横須賀火力発電所の建設を記録したドキュメンタリー映画。撮影は2年半に及び、発電所の第一号機の鉄骨が組みあがるまでが記録される。東京電力のPR映画で、短編としては日本初のシネスコカラー作品。単調な作業の繰り返しだが丹念に記録され、力強い建設の魅力がこもっている。黒木監督の出世作となった。



監督: 黒木和雄

ナレーター: 長門裕之

1959年 / 35ミリ / カラー / 61分  
岩波映画

7(木) 11:00 / 17(日) 14:00

## あるマラソンランナーの記録

東京オリンピックのマラソン候補選手だった君原健二の日常と練習風景を記録したドキュメンタリー映画。元々富士フィルムのPR映画として企画され、様々なスポーツ選手を追う予定だったが、監督の希望で君原一人に焦点を絞って撮影された。故障により別府で静養する姿や北九州市でトレーニングする君原が描かれる。



監督: 黒木和雄

ナレーター: 城達也

1964年 / 35ミリ / カラー / 63分  
東京シネマ

7(木) 14:00 / 20(水) 11:00

## 恋の羊が海いっぱい

監督: 黒木和雄 出演: ベギー葉山 フォーコインズ  
1961年 / 35ミリ / カラー / 20分 / 岩波映画

羽田澄子の「ウールができるまで」のシナリオを元に、黒木監督がミュージカル仕立てで構成した映画。ウールができる工程を全7編のオムニバスによるドラマとドキュメンタリーで融合させるという実験的な試みを行っている。

## わが愛 北海道

監督: 黒木和雄 出演: 及川久美子 関口正幸  
1962年 / 35ミリ / カラー / 49分 / 岩波映画

北海道にやって来た企業コンサルタントの青年は、工員のキョウコと出会い二人で北海道各地に旅をする。アラン・レネの「二十四時間の情事」に倣って構成された、北海道へのオマージュのような作品。

8(金) 11:00 / 16(土) 14:00

## メソポタミア

1956年9月から翌年5月にかけて、東京大学イラク・イラン遺跡調査団に随行して製作されたドキュメンタリー映画。現地の遺跡を発掘し4千年から8千年前の農民の生活を探ることを目的としている。バクダッドの街並みや港町のバスラ、そして北メソポタミアのテル・サラサート遺跡の発掘などが記録されている。



製作: 堀場伸世

構成: 桑野茂

1957年 / 35ミリ / カラー / 72分  
日本映画新社=東宝

8(金) 14:00 / 21(木) 11:00

## ドキュメント 路上

東京オリンピック開催に向けて都市整備が行われる東京の街を、タクシー・ドライバーの視点から描いたドキュメンタリー映画。家族との短い団欒。仕事に出れば工事のトラックで渋滞が起き、時にはスピード違反でキップを切られる。ドライバーの日常をまるで実験映画のように描いている。



監督: 土本典昭

1964年 / 16ミリ / モノクロ / 54分  
東洋シネマ

9(土) 11:00 / 22(金) 11:00

## 鬼すべ

「鬼すべ」は太宰府天満宮で毎年1月7日に行われる神事で、約千年に及ぶ歴史がある。時代の変化で祭りの祭具の材料が入手困難になるなど様々な理由で祭りの形式は変更を余儀なくされてきた。本作は安易な変更を止めをかけるため、祭りの手順や役割などが細かく記録されている。



監督: 野崎健輔

1983年 / 16ミリ / カラー / 58分  
RKB映画社

会期: 1月6日(水)～1月24日(日) ※休館日・休映日除く

観覧料: 500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保険証などの提示が必要です。)

※「わたすクラブ」会員の方は250円。(会員証の提示が必要です。)



9(土) 14:00 / 21(木) 14:00

## さようならCP

CPとは脳性マヒ患者の事。57年脳性マヒ患者の差別解消を目的として結成された、「青い芝の会」神奈川県連合の活動を描いたドキュメンタリー映画。本作は脳性マヒによる肢体不自由な患者たちが、社会に向けて行うアピール活動とインタビューにより構成される。



監督: 原一男  
1972年 / 16ミリ / モノクロ / 83分  
疾走プロダクション

6(水) 11:00 / 10(日) 11:00

## 干潟のある海 諫早湾1988

有明海。1989年に長崎県・諫早湾の干拓工事が始まり、3550ヘクタールの海が潮受堤防によりせき止められた。本作は福岡県出身の映像作家岩永勝敏が、干拓工事が始まる前の諫早湾の自然や、漁師の営みを記録するために製作したものである。



監督: 岩永勝敏  
1992年 / 16ミリ / カラー / 52分  
イワプロ

10(日) 14:00 / 22(金) 14:00

## アントニー・ガウディー

スペインの世界的建築家アントニー・ガウディー(1852～1926)の作品の魅力に迫ったドキュメンタリー映画。ガウディーの故郷を訪ね、「サグラダ・ファミリア」や「グエル公園」等の建築と街の風景を見事に描いていく。監督は「砂の女」(64年)などの作品で知られる勅使河原宏。



監督: 勅使河原宏  
音楽: 武満徹  
1984年 / 35ミリ / カラー / 72分  
勅使河原プロダクション

11(月・祝) 11:00 / 24(日) 11:00

## 旅するパオジャンパー

「パオジャンパー」とは歌や踊りを見せながら薬を売る台湾の伝統的な職業。本作は実在のパオジャンパー一座「新威殿」の日常を記録した作品。映画には「新威殿」の一家の他2組のパオジャンパーが登場する。柳町監督は94年に2か月間台湾に滞在し本作を撮影した。



監督: 柳町光男  
1995年 / 35ミリ / カラー / 94分  
SONY

14(木) 14:00 / 24(日) 14:00

## SAWADA サワダ

1966年「安全への逃避」と題された写真でピューリッツァー賞を受賞したカメラマン・沢田教一の生涯を描いたドキュメンタリー映画。本作は沢田の生い立ちから、通信社の同僚や先輩など約40人の世界のジャーナリストの証言が収められ、彼が活躍した時代と彼の生きざまを浮かび上がらせている。



監督: 五十嵐匠  
1996年 / 16ミリ / カラー / 114分  
グループ現代=みちのく銀行

15(金) 11:00 / 23(土) 11:00

## SELF AND OTHERS

わずか3冊の写真集を自費出版し亡くなった写真家・牛腸茂雄を描いたドキュメンタリー映画。「SELF AND OTHERS」は彼の2冊目の写真集の題名で、代表作とされるもの。佐藤監督は彼のゆかりの地を訪れ、残された手紙や写真をコラージュしながら牛腸の写真の魅力に迫っていく。



監督: 佐藤真  
2000年 / 16ミリ / カラー / 53分  
ユーロスペース

15(金) 14:00 / 23(土) 14:00

## 三池 終わらない炭鉱の物語

福岡県大牟田市から熊本県荒尾にまたがる日本最大の炭鉱・三井三池炭鉱。1997年の閉山後大牟田市には多くの炭鉱の遺構が残った。本作は大牟田市石炭産業科学館により製作されたドキュメンタリーで、炭鉱の歴史や遺構を後世に残すことを目的としている。



監督: 熊谷博子  
2005年 / デジタル / カラー / 103分  
オフィス熊谷

14(木) 11:00 / 16(土) 11:00

## 小梅姐さん

赤坂小梅は1906年、福岡県川崎町に生まれる。芸者として働く一方、歌手として一世を風靡した。彼女は「黒田節」「炭坑節」「おてもやん」など各地の民謡を歌い、全国区の唄として定着させた。1992年死去した彼女の功績を残そうと製作された作品。



監督: 山本眸古  
2007年 / デジタル / カラー / 76分  
赤坂小梅生誕100年製作上映委員会



12/28月

年末年始の休館日

4月

5火

休映日

6水

11:00  
干潟のある海 諫早湾1988

14:00  
海壁

7木

11:00  
あるマラソンランナーの記録

14:00  
恋の羊が海いっぱい 他

8金

11:00  
メソポタミア

14:00  
ドキュメント 路上

9土

11:00  
鬼すべ

14:00  
さようなら CP

10日

11:00  
干潟のある海 諫早湾1988

14:00  
アントニー・ガウディー

11月祝

11:00  
旅するパオジャンプー

14:00  
阿賀に生きる

12火

休館日

13水

休映日

14木

11:00  
小梅姐さん

14:00  
SAWADA サワダ

15金

11:00  
SELF AND OTHERS

14:00  
三池 終わらない炭鉱の物語

16土

11:00  
小梅姐さん

14:00  
メソポタミア

17日

11:00  
海壁

14:00  
あるマラソンランナーの記録

18月

休館日

19火

休映日

20水

11:00  
恋の羊が海いっぱい 他

14:00  
阿賀に生きる

21木

11:00  
ドキュメント 路上

14:00  
さようなら CP

22金

11:00  
鬼すべ

14:00  
アントニー・ガウディー

23土

11:00  
SELF AND OTHERS

14:00  
三池 終わらない炭鉱の物語

24日

11:00  
旅するパオジャンプー

14:00  
SAWADA サワダ

25月

休館日

26火▶29金

休映日

30土

自主上映／福岡映画サークル協議会例会

31日

休映日

## 自主上映のお知らせ

### 1月30日(土) 福岡映画サークル協議会例会

上映作品：「青春デンデケデケデケ」(1992年/135分/大林宣彦監督)  
①11:00～ ②14:00～

料 金：一般 当日1,400円(前売り1,200円)  
シニア 当日1,100円／中高生 当日800円  
障がいのある方 当日1,000円

主 催：福岡映画サークル協議会 TEL092-781-2817

※詳細については直接主催者にお問い合わせください。

## アジア映画上映会

### 上映作品「ジャングル・スクール」

日時 1月30日(土) 13:30～

会場 高取公民館1階講堂  
福岡市早良区高取1-14-13 Tel.092-851-9705

観覧料 無料

※30名限定。先着順。  
※観覧の申し込みは高取公民館へ電話でご連絡ください。定員になり次第締め切ります。  
※上映の30分前から講堂に入場できます。  
※お越しの際は公共交通機関をご利用ください。  
※鑑賞に際してはマスクの着用が必要です。

インドネシアのジャングルで生活する子どもたちの教育支援活動に従事した実在の女性、ブレット・マズルの活動を映画化した感動の作品です。2014年アジアフォーカス・福岡国際映画祭で観客賞を受賞。ぜひ皆さんでお越しください。



監督：リリ・リザ 2013年/デジタル/カラー/90分/インドネシア/日本語・英語字幕付き

主催：福岡市総合図書館文学・映像課 Tel.092-852-0600  
共催：高取公民館

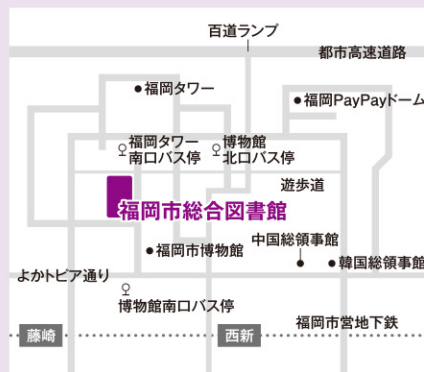


## 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号  
福岡市総合図書館(代表)：tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



### 交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【市営地下鉄】  
西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

【西鉄バス】  
●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分  
●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター[tel.0570-00-1010]に直接お問い合わせください。